

# いのちの言の葉2012

富山県教育委員会平成24年度いのちの教育総合支援事業

## 「いのちの温もりにふれてみて」

高岡市立千鳥丘小学校

平成24年6月15日実施

### 【授業の概要】

- 1 障害児をもった時の家族の話
- 2 教育訓練をしたときのエピソード
- 3 夢をもち続けることの大切さ

### 【いのちの先生】

齋藤 寛明先生

・齋藤とうふ店経営

(ママへ) 今日の「命の授業」でゆうきさんの話を聞くと、私たちが健康な体に生まれてきたことはとてもありがたいことなんだと思います。私は、いつもできないことはすぐにあきらめていたけれど、何をする時も努力をすれば、ゆうきさんのように体に障害のある方も、目標を達成できることを知りました。

(ママより) 今日まで、元気に明るく育ててくれてありがとう。〇〇が生まれる時、予定日より1か月も早く、健康に生まれてくれるかとても心配でした。少し小さかったけれど、無事に生まれてくれてとてもうれしかったです。話したり、走ったりできるのは当たり前なことだけど、それはとても幸せなことだと改めて気づきました。



(ママへ) 今日、齋藤さんのお話を聞いて、あきらめず、前向きに生きることは大切なことだなと思いました。勇旗さんは、障害をもっていてもあきらめずに前向きだから、豆腐屋さんをできるのだと思いました。命の授業を受けて、やっぱり「いのち」は大切だな、と思いました。苦労したと思うけれど、〇〇を産んでくれてありがとう。

(ママより) 我が子の障害と正面から向き合い、我が子を理解し、あきらめずに生活習慣から教え続けていかれた齋藤さんの話を聞き、子をもつ親として考えさせられました。この世に生まれてきてくれた大切な子と、もっと正面から子どもの目線に合わせて話し合い、親子共に成長していけたらと思います。たくさん話をして、いっしょにがんばっていきましょう。

